

## 各 位

株式会社 エスライン  
(コード番号 9078 東証・名証)

## 2022年3月期 第2四半期決算発表(参考資料)

## 連結決算

## 1. 第2四半期業績の推移

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
	実績	実績	実績	対前期増減率(%)
連結子会社	21社	19社	19社	
営業収益	24,860	23,519	23,923	1.7
営業利益	561	497	565	13.7
経常利益	605	570	637	11.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	311	384	436	13.5

【営業収益は2期ぶりの増収、  
営業利益、経常利益は3期ぶりの増益】

過去最高実績

(第2四半期)

(単位:百万円)

営業収益	2020年3月期	24,860
営業利益	2019年3月期	890
経常利益	2019年3月期	918
親会社株主に帰属する四半期純利益	2019年3月期	570

## 2. 通期の業績予想

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
	実績	実績	実績	予想	対前期増減率(%)
連結子会社	21社	19社	19社	19社	
営業収益	49,136	48,999	47,782	48,600	1.7
営業利益	1,687	974	1,503	1,550	3.1
経常利益	1,756	1,058	1,629	1,660	1.9
親会社株主に帰属する当期純利益	969	3,118	971	1,050	8.1

過去最高実績

(通期)

(単位:百万円)

営業収益	2019年3月期	49,136
営業利益	2019年3月期	1,687
経常利益	2019年3月期	1,756
親会社株主に帰属する当期純利益	2020年3月期	3,118

## 【第2四半期業績】

①トラックによる企業間輸送を主とする「輸送サービス部門」では、

- ・貨物輸送量は、先期の第1四半期に比べて荷動きが回復傾向になったものの、第2四半期は、「緊急事態宣言」の発出、延長により人や物の動きが再び制限され消費活動が停滞した。また、EC物流が増加したことや、海外からの輸入貨物が低調に推移したこと、更に、外出制限により営業担当者の活動が十分に実施できなかつたことで、期待したほどの伸びはなかつた。

②商品保管や物流加工を行う「物流サービス部門」では、

- ・当期に開設した小牧センターにて、主に衣料品の一貫物流サービスに取り組んだ。
- ・大型商業施設内の専門店が営業を再開したことで、納入する商品の加工業務が増加した。
- ・巣籠もり消費が続き、菓子類や日用雑貨品、部屋着を中心とした衣料品の保管・加工業務が増加したこともあり増収となった。

③大型商品等の個人宅配を行う「ホームサービス部門」では、

- ・先期における特別定額給付金の支給による白物家電を中心とした買い替え特需の反動により、配送業務が大幅に減少した。
- ・引越サービスについては、個人の引越は順調に推移したものの、法人関係の事務所引越しの受託は低迷した。

この結果、第2四半期連結累計期間の営業収益は、239億23百万円(前年同期比1.7%増)となった。

利益面では、想定よりも低調となった貨物輸送量の影響により営業収益が伸びないなかで、

運行効率の改善や集配作業の見直しにより自社内効率を高め、外部委託費を削減したが、

原油価格の高騰により燃料費が大幅に増加した結果、

営業利益は5億65百万円(前年同期比13.7%増)、経常利益は6億37百万円(前年同期比11.8%増)

親会社株主に帰属する四半期純利益は4億36百万円(前年同期比13.5%増)となった。

## 【下期に向けた取り組み】

①人員不足や時間短縮、作業効率化への対応のため、AI配車システムやマテハン機器を導入・活用し、自社内効率を更に高める。

②中期経営計画の取り組みとしては、

- ・「輸送サービスの充実」では、貸切・専門輸送・国際物流・引越サービスの専門部署を中心に、各分野において、特積み以外の収益の拡大に取り組む。
- また、名古屋港に入港するコンテナの一括物流サービスを提供する「コンテナセンター」の業務の充実と、阪神港湾地区における保管・貸切業務の拡大を図る。
- ・「物流サービスの拡大」では、当期に開設した小牧物流センターや、先期に開設した㈱スリーエス物流の第3物流センター等の新施設の稼働を高め、収益拡大に繋げる。

## 3. 設備投資と減価償却費の状況

(単位:百万円)

	2021年3月期		2022年3月期			
	通期実績	対前期増減率(%)	第2四半期実績	対前期増減率(%)	通期予想	対前期増減率(%)
設備投資	4,606	22.5	722	△ 66.8	1,587	△ 65.5
減価償却	1,810	2.3	951	6.8	1,970	8.9

※主な設備投資の状況(車両以外)

川口支店改築(7月:㈱エスラインギフ)  
倉庫新築(8月:エスラインミノ)

以 上